

Geophysics

Atmospheric
Physics



Environmental
Geoscience

Meteorology

Climatology



Geoelectromagnetism

Volcanology



Geothermal
Science

Geodesy



Seismology

Active
Tectonics

Hydrology



Oceanography

ウェゲナー祭

理学部 地球惑星科学系 オープンラボ2019

日時 : 2019年6月7日 (金) 16:30~19:30

会場 : 京都大学吉田キャンパス (北部)
理学部 1号館563号室ほか

- 内容 : ① 大学院生が語る地球惑星科学
② 各研究室の見学・ツアー・実験観察
③ ポスターによる研究紹介
・フリーディスカッション

HP → <http://www.eps.sci.kyoto-u.ac.jp/>

Twitter → @kyotoeps

Geology and Mineralogy

Sedimentology



Paleontology



Mineralogy



Historical Geology

Geochronology

Structural Geology



Petrology

ウェゲナー祭

京都大学理学部 地球惑星科学系 オープンラボ

メイン会場： 理学部1号館5階563号室

プログラム： 2019年6月7日(金)

- 16:30-16:35 開会の挨拶
- 16:35-17:00 特別講演：院生が語る地球惑星科学
長縄和洋 「測地学で解き明かす
氷河融解と地球内部構造」
安邊啓明 「大学院生の研究生活」
- 17:00-18:30 オープンラボ @ 各研究室
- 18:30-19:30 研究交歓会
(ポスターセッション・フリーディスカッション等)

◆ T11 地球テクトニクス

「放射年代と同位体分析を用いた地球変動研究の紹介」@ 278
* 鍾乳石と樹木年輪から探る地球の気候変遷 (試料に触れてみよう)
* ホットスポット火山活動 (映像&石) と島弧山地隆起史復元 (マップ)

◆ T16 宇宙地球化学 「最先端の分析技術で太陽系, 地球, 生命の誕生と進化を探る」@ 147&149

同位体顕微鏡やレーザーサンプリングと質量分析計を組み合わせた同位体イメージングにより、隕石や微小鉱物から様々な情報を引き出す実験を行っています。世界でここできかない分析を目指して開発している実験装置を紹介します。

◆ T15 地史

「断層や褶曲が語る地史—地球・月—」@ 165

断層や褶曲から、歴史時代を遙かにさかのぼって、数百万年、数十億年前のテクトニクスに関する情報を抽出することができます。そうした研究の一端を紹介します。

◆ T14 地層

「化石に触れよう。化石から考えよう。」@ 172

化石は、過去地球に生息した絶滅生物の多様性を知る唯一の物的証拠です。まずはいろいろ、生物(今生きているものも、絶滅したものも)の形を楽しんで下さい。そしてもう一つ。「地層の中にある化石」から、その生物の「生き様」と「死に様」を考えてみましょう。地層は時に、遠い過去の生物の「瞬間」を映しとどめているのです。

◆ T13 鉱物

「ナノ・ミクロから見る地球・宇宙物質」@ 055,062

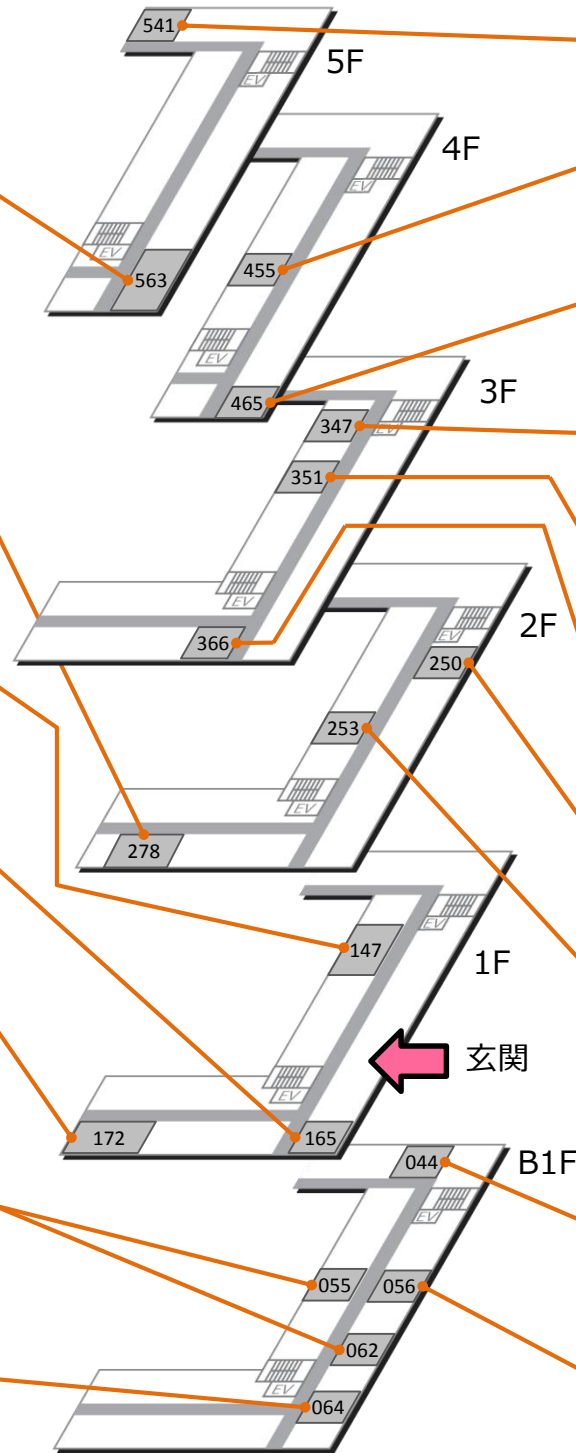
地球や地球外物質に含まれる鉱物のもつ微細構造は、生成やその後の様々な変遷に関する情報をもっています。このような情報をいかに引き出すか、高分解能透過型電子顕微鏡をはじめとする分析装置などの紹介を通じて、研究を紹介します。また、はやぶさ探査機が小惑星から持ち帰ったサンプルの分析の成果についても、ポスターで紹介します。

◆ T11 地球テクトニクス

「変形実験装置見学」@ 064

地下深部の高圧条件下での岩石変形や、地震時の断層すべりを再現することを目的として設計・製作した京大オリジナルの実験装置を紹介します。

理学部1号館 → 北



◆ T1 電磁気圏

太陽惑星系電磁気学：「研究室紹介」@ 541号室
太陽系・惑星系・地球を電磁気学的に研究している本研究室を紹介します。

◆ 地球熱学研究施設・京都分室

(T2 大気圏・水圏 と T3 固体圏 の一部) @ 455 号室
地球熱学研究施設で行なっている研究を紹介します。

◆ T3 固体圏

活構造学：「大地の変動を見る」@ 465号室
地殻変動・マントル流動のしくみや、実験手法を展示しています。

◆ T2 大気圏・水圏

海洋物理学：「研究室紹介」@ 347号室
海洋物理学研究室で行っている研究を紹介します。

◆ T2 大気圏・水圏

気象学：「回転水槽実験」@ 351号室
回転が流体運動に与える影響をみてみよう。

◆ T2 大気圏・水圏

物理気候学：「1時間雨量10mmを再現しよう」@ 366号室
雨量計とスプレーで1時間雨量10mmの再現にトライしてもらいます。
物理気候学研究室における研究や活動、生活などをご紹介します。

◆ T3 固体圏

測地学：「研究室紹介」@ 250号室
測地学は、地球の形やその時間変化を計測する学問です。今回は測地学的観測でどのような現象が見えるのかをご紹介します。

◆ T3 固体圏

地震学：「研究室紹介」@ 253号室
地震学研究室における研究や活動、生活などをご紹介します。

◆ T14 地層

「水路実験からわかる地球表層プロセス」@ 044
地球表層では流体と土砂(粒状物質)の相互作用によって地形が変化し続けています。この部屋では、水路実験により、地形が自発的に形成され移動する様子を観察します。

◆ T12 岩石

「岩石から探るプレート収束帯深部の姿」@ 056
南極やアルプス・ヒマラヤなど世界各地のプレート収束域から岩石試料を持ち帰り、地下深部で起きている物質科学的諸プロセスやプレート収束域のテクトニクスを読み解く研究を行っています。
岩石試料の展示・偏光顕微鏡薄片観察体験・実験装置の紹介を通じて、研究内容の紹介を行います。